



杉並区立  
浜田山小学校

浜田山小学校  
公式サイト  
二次元コード

学校だより第568号  
令和4年度12月号

# はまだやま



校長 緒方 康裕  
副校長 越山 宗治

ありがとうハッピー さようなら

副校長 越山 宗治

先日、長年子どもたちに愛されてきたウサギのハッピーが亡くなりました。正確な年齢は分かりませんが、10年位前からいたそうなので、人間で言うと100歳ほどではないかということです。ウサギでは長生きだったとのこと、最後は穏やかな顔をしていたと思います。

ハッピーは、高齢だったので、私が浜田山小に赴任した時には、既に飼育小屋ではなくて、校舎内の主事室の前が定位置でした。毎日の出退勤では必ず様子を見て、その愛くるしさに心を和ませていました。子どもたちも、よく見ていたと思います。ハッピーに癒やされていた子も多いのではないかと思います。亡くなる前は、飼育委員会の子が、土日も来て、何時間もハッピーの世話をしてくれました。亡くなってしまったことは悲しいことですが、みんなの思い出の中で、いつまでも生き続けてくれたらと思います。

さて、話は変わりますが、今浜田山小学校では、来年の70周年に向けて、キャラクター決めを行っている真っ最中です。校舎の真ん中にある昇降口には、子どもたちから募集したキャラクターの候補が貼り出されています。そのモチーフはというと、サクラやウサギのものが多くあります。子どもなりに一生懸命考えて、浜田山小の70周年に相応しいキャラクターを考えてくれたようです。もちろんそれ以外のモチーフもよく考えられていて素晴らしいので、機会がありましたら、ぜひ御覧いただければと思います。今後、子どもたちの投票で決定する予定ですが、どれが選ばれても来年の70周年で立派なシンボルになってくれると思います。保護者、地域の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

## — 12月の生活目標 — 【整とん名人になろう 物を大切にしよう】

12月に入ると、寒さも一段と厳しくなり上着などの防寒具を着用して登校するようになります。また、2学期も終わりに近付き、児童の机やロッカーには多くの物が保管されていると思います。自分で管理する物が増えるからか、職員室には記名のない落とし物が多く届けられています。(落としたことに気が付かないことも多いようです。)

2学期も残りわずかです。「自分の持ち物に記名し、大切に扱うことができただろうか」、「身の回りの整理・整頓を意識できただろうか」、「みんなで使う場所や物を大切に使うことができただろうか」など、学校生活を振り返り、気持ちよく生活できるようにしていきたいと思います。3学期に向け、今以上に、自分の物やみんなで使う物を大切にすることを意識させ、学校全体で整理・整頓にすすんで取り組むことができるようにしていきます。